

太平洋めぐりして

サケの稚魚放流二〇二万尾



は肌寒い一日。関係者の見守る中、近隣小学校の児童三七〇名が岸辺から稚魚をポリバケツに入れて放流しました。

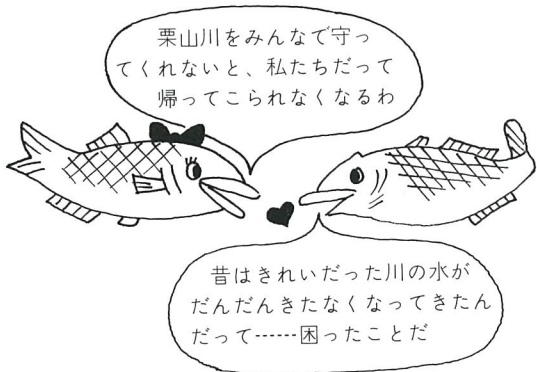
この稚魚は川を下り河口近くの海で約一カ月間、プランクトンや小魚を食べて体力をつくり、大海原へと旅立ちます。

昨年は産卵のために七七〇尾のサケが栗山川に帰ってきました。

サケにとつての古巣の川、栗山川を私たちの手で守りましょう。

大きく育って元気に帰ってきてね……と、子供たちの願いをこめて三月十日、体長五〜六センチに育ったサケの稚魚一〇二万尾が放流されました。放流された稚魚の中には栗山川二世も十六万尾含まれています。

八回目の放流となったこの日



昭和58年度農業賞

農業賞——3名
奨励賞——1組合

3月15日町民会館で、昭和58年度農業賞の授賞式が行われました。

今回受賞された方がたは、多種多様化する農業の中でそれぞれの分野において実情を的確にとらえ、将来への安定した農業基盤を作るべく努力をし、地域のリーダーとして活躍されています。

受賞者は次のとおりです。(順不同・敬称略)

 長塚 吉田 光幾	 篠本一区 行方 儀平
 農事法人 谷中温室組合 代表理事 平山 和敏	 傍示戸 斉藤 良雄

おめでとう

橋場子ども会

全国子ども会連合会から表彰

第十七回、全国子ども会中央会議が去る二月十二日、山口県萩市で開催されました。

この席上で橋場子ども会が長年の功績が認められ、全国子ども会連合会から表彰状と感謝状

が送られ、その伝達が三月二日八匠教育委員会で行われました。

橋場子ども会は現在会員一三〇名、昭和四十七年に発足、特

に奉仕活動、美化運動、心の教育に重点を置き、毎年公共施設の清掃と環境美化運動を欠かさず行ってきました。

明日を担う子どもたちが、奉仕の精神で積極的に取りくむ姿は他の模範となっています。



橋場子ども会、代表者の皆さん